



細径ドロップ光ケーブル

Small Size Optical Fiber Drop Cable

1. 概要

FTTH (Fiber To The Home) サービスの普及により光開通工事が増加している。このため、開通までの時間を短くするためにドロップ光ケーブルの施工性の向上が求められている。また、各家庭の壁や室内に配線されることから、ケーブルの配線時にはなるべく小さく曲げられることが望まれる。

今回開発した細径ドロップ光ケーブルは、従来のケーブルより軽量化・細径化することで施工性の向上をはかった。また光ファイバ心線に超高屈曲型光ファイバを使用する事によりケーブルを小さく曲げたときに発生する光損失増加量を低減した。

2. 構造

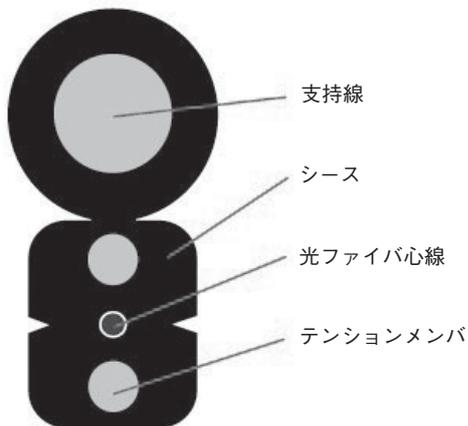


図1 ドロップ光ケーブル構造図

表1 ケーブル仕様

項目	仕様
光ファイバ種別	超高屈曲光ファイバ R7.5 mm 対応 e-Bend [®]
光ファイバ心数	1心
支持線	銅線
シース	黒色難燃ポリエチレン
テンションメンバ	FRP
仕上外径	1.6 mm × 4.3 mm
概算質量	15 kg/km
許容曲げ半径	7.5 mm

3. 特長

- (1) ケーブル高さ及び質量を従来品から 25% 削減。
このため、布設スパン長を従来品に比べ長くすることが可能となった。

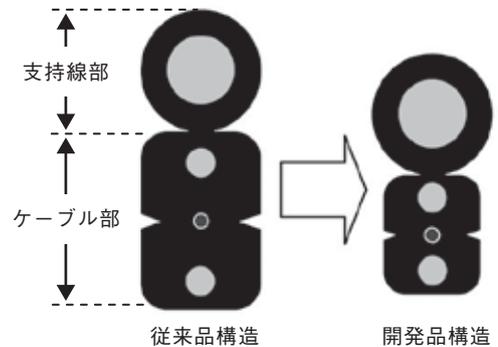


図2 従来品との比較

- (2) 施工時のハンドリング性が向上。
超高屈曲型光ファイバを使用する事により施工時のドロップ光ケーブルの曲げ半径を小さくすることが可能。

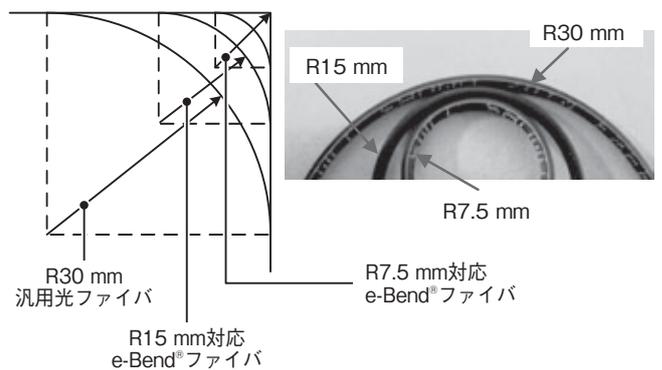


図3 曲げ半径 イメージ図

e-Bend は昭和電線ケーブルシステム株式会社の登録商標です。

問合せ先：〒105-6012 東京都港区虎ノ門4-3-1 (城山トラストタワー)
昭和電線ケーブルシステム(株)
電機・情報システム営業部 通信システムグループ
電話(03)5404-6965 FAX(03)3436-2583